

2018年度第2四半期決算概要 及び2018年度業績予想

2018/11/1

 **住友重機械工業株式会社**
社長 別川 俊介

INDEX

01 2018年度第2四半期決算概要

02 2018年度業績予想

03 「中期経営計画2019」進捗

01 2018年度第2四半期決算概要

01 2018年度 第2四半期業績サマリー

単位：億円

■ ポイント

(1) 受注高

- ・ 過去最高の受注を達成。
- ・ すべてのセグメントで前年同期比増加。
- ・ 建設機械、機械コンポーネント、精密機械の量産系が好調。
- ・ 第2四半期よりラファート社を新規連結化。

(2) 売上高

- ・ 過去最高の売上を達成。
- ・ すべてのセグメントで前年同期比増収。
- ・ 受注高と同様に、量産系好調また新規連結化により増加。

(3) 営業利益

- ・ 建設機械、環境プラントで前年同期比増益。

	2017/上	2018/上	増減
受注高	3,858	4,614	756
売上高	3,553	4,237	683
営業利益	290	341	51
営業利益率	8.2%	8.0%	△0.2%
経常利益	289	331	41
経常利益率	8.1%	7.8%	△0.3%
特別損益	△1	△2	△1
税金等調整前 当期純利益	288	328	40
親会社株主純利益	198	214	16
親会社株主利益率	5.6%	5.0%	△0.6%
為替レート(ドル)	¥110	¥111	¥1

01

セグメント別営業利益

単位：億円

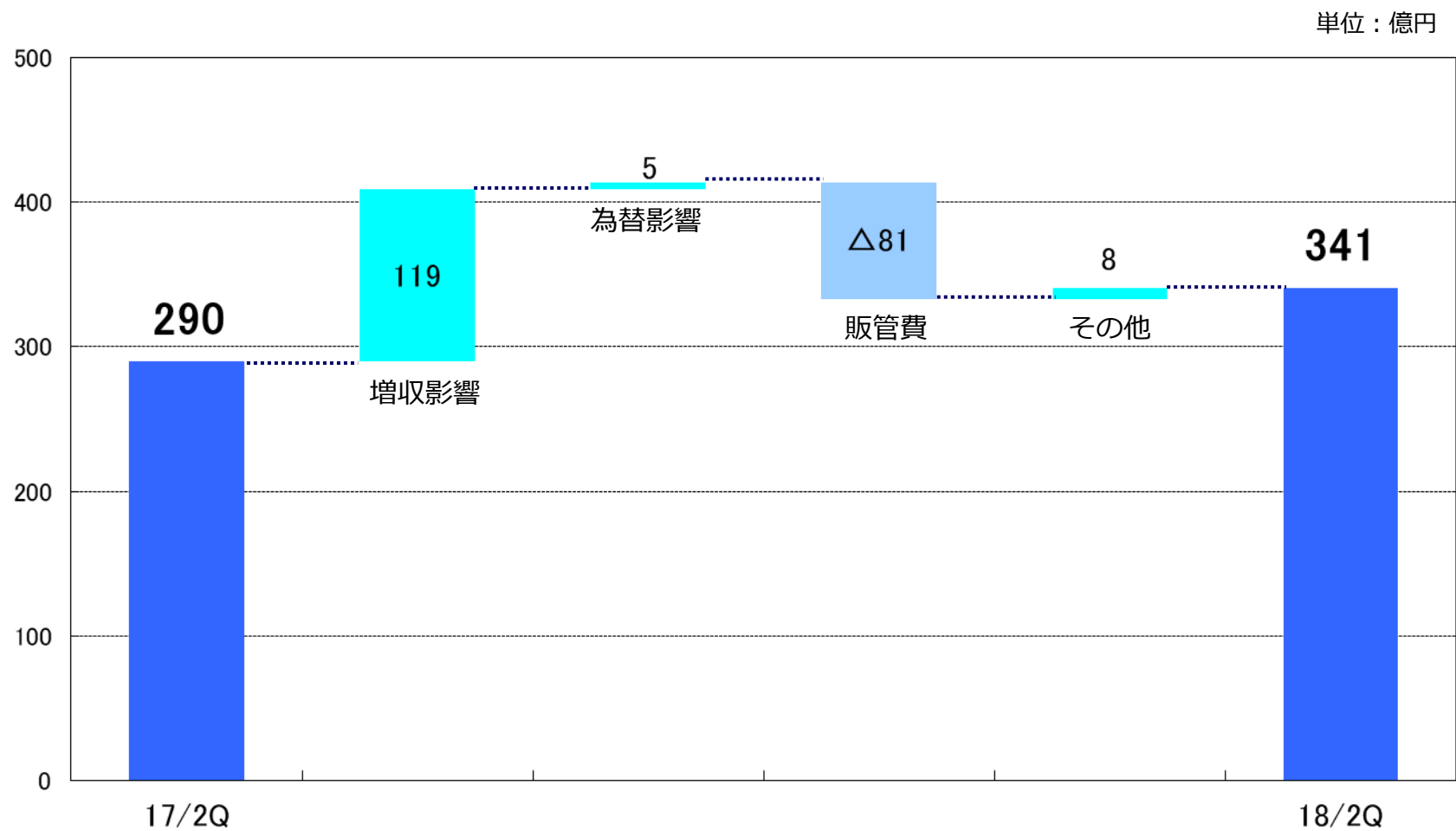
■ 対前期比較

	2017/上	2018/上	増減
<機械コンポーネント> 市況堅調で売上増加も、大型減速機の利益率低下、ラファート社株式取得一時費用発生等により減益。	53	45	△8
<精密機械> プラスチック機械は堅調も、一部の半導体関連機種で売上が減少し、若干の減益。	78	77	△1
<建設機械> 主に油圧ショベルの需要増加により大幅増益。	83	131	48
<産業機械> 産業用タービンが売上減少も、鍛造プレス等売上増加により前年比変わらず。	30	30	0
<船舶> 新造船の市況低迷長期化により減益。	20	11	△10
<環境・プラント> エネルギー環境の個別採算改善、SFWの新規連結等により大幅増益。	16	36	20
	11	12	1
	290	341	51

※ SFW: Sumitomo SHI FW

01

営業利益増減分析



01

連結貸借対照表

単位：億円

	2018/3末	2018/9末	増減		2018/3末	2018/9末	増減
流動資産	5,516	5,658	142	負債	4,499	4,760	261
現預金	882	954	72	買掛債務	1,842	1,926	84
売上債権	2,694	2,538	△156	前受金	425	537	111
たな卸資産	1,674	1,886	212	有利子負債	642	679	37
その他	265	280	15	その他	1,589	1,618	29
固定資産	3,433	3,638	206	純資産	4,450	4,536	87
有形固定資産	2,396	2,441	46	株主資本	3,694	3,853	158
無形固定資産	503	657	153	その他の包括利益 累計額	616	534	△81
投資その他の資産	533	540	7	非支配株主持分	140	149	10
合計	8,948	9,296	348	合計	8,948	9,296	348
				ネット有利子負債比率	△2.7%	△3.0%	△0.3%
				自己資本比率	48.2%	47.2%	△1.0%

※ ラファート社の増加額 343億円

単位：億円

	全社				油圧シヨベル			
	2017年度第2四半期 (17.4-17.9)		2018年度第2四半期 (18.4-18.9)		2017年度第2四半期 (17.4-17.9)		2018年度第2四半期 (18.4-18.9)	
	売上高	(売上比率)	売上高	(売上比率)	売上高	(売上比率)	売上高	(売上比率)
北米	592	16.7%	671	15.8%	171	19.9%	224	21.6%
ヨーロッパ	263	7.4%	497	11.7%	55	6.3%	76	7.3%
アジア(除く 中国)	344	9.7%	492	11.6%	90	10.5%	117	11.2%
中国	386	10.9%	504	11.9%	182	21.1%	278	26.7%
その他	132	3.7%	151	3.6%	60	7.0%	75	7.2%
船舶海外	175	4.9%	180	4.2%				
日本	1,661	46.7%	1,742	41.2%	303	35.2%	270	26.0%
総売上高	3,553	100%	4,237	100%	860	100%	1,039	100%

※ 為替レート (ドル) 17年度第2四半期：¥110 18年度第2四半期：¥111

02 2018年度業績予想

02

2018年度業績予想

■ 堅調な受注環境が継続し通期予想を上方修正

■ 増益により期初比増配

単位：億円

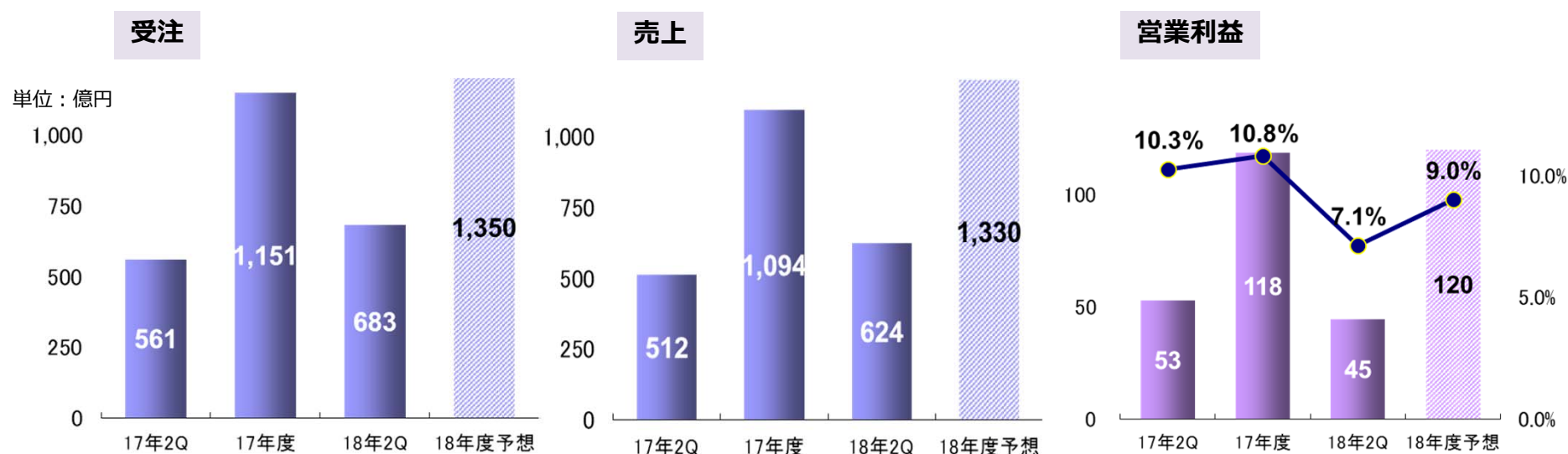
	2017年上期 実績	2018年上期 実績	2017年度 実績	(参考)2018年度予想 (18年5月時点)	2018年度予想 (18年10月時点)
受注高	3,858	4,614	8,640	8,700	9,200
売上高	3,553	4,237	7,910	8,500	8,900
営業利益	290	341	699	640	700
営業利益率	8.2%	8.0%	8.8%	7.5%	7.9%
経常利益	289	331	675	618	675
経常利益率	8.1%	7.8%	8.5%	7.3%	7.6%
特別損益	△1	△2	△148	△40	△40
親会社株主純利益	198	214	347	380	410
親会社株主利益率	5.6%	5.0%	4.4%	4.5%	4.6%
1株当たり配当	40円 (株式併合考慮後)	50円	85円 (株式併合考慮後)	93円	100円
配当性向			30.1%	30.0%	29.9%
ROIC(税引後)			10.3%	8.9%	9.8%
【参考】ROE			8.4%	8.6%	9.3%
織込レート(ドル)	¥110 (実績)	¥111 (実績)	¥112 (実績)	¥105	¥110



02

機械コンポーネント

- 1 8 上期：** 中小型の変減速機、欧州や中国でのロボット用精密減速機の市況が堅調に推移したことや、ラファート社を連結子会社化したことから、受注、売上ともに前年同期に比べ増加。
- 1 8 年度：** 国内、海外ともに市況は堅調に推移するものと見込まれ、中小型は好調継続。MCDは顧客の在庫調整の影響を受け、若干厳しい。大型は回復基調継続。ラファート社との統合を進める。



02

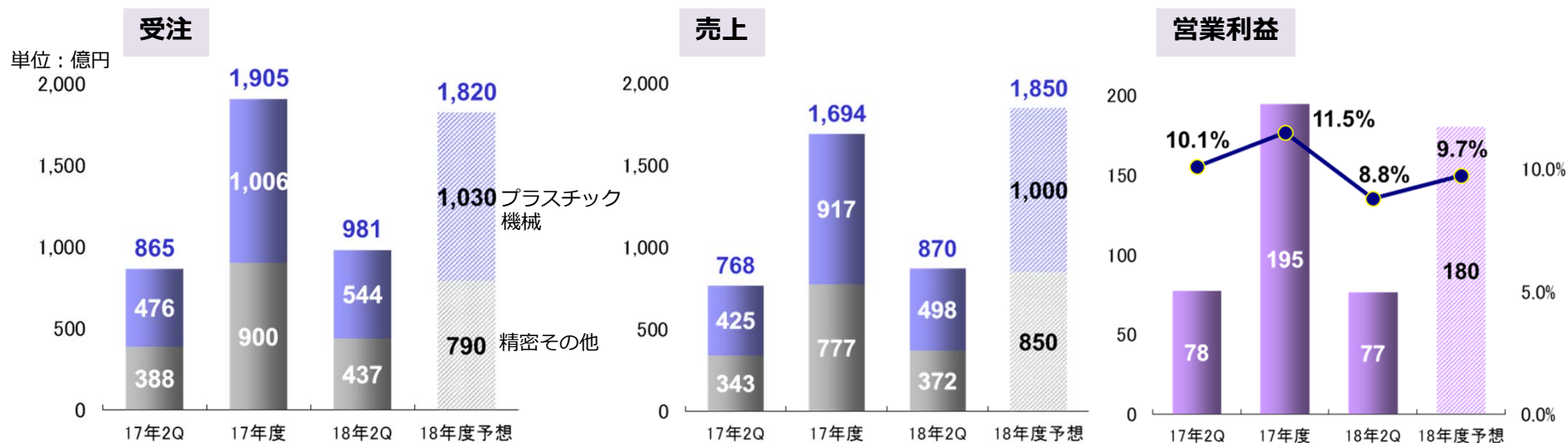
精密機械

<プラスチック機械>

- 18上期：** 中国の電気電子関連の高い需要が持続したことなどにより、受注、売上ともに前年同期に比べ増加。
- 18年度：** 市況は引き続き堅調に推移するも、中国の電気電子関連の高い需要は落ち着き、平準化へ向かう見込み。

<精密その他>

- 18上期：** 医療向けの極低温冷凍機の需要が増加したことなどから、受注、売上ともに前年同期比増加。
- 18年度：** 極低温冷凍機は堅調に推移する見込み。一方、半導体関連機種はまだら模様。



02

建設機械

＜油圧ショベル＞

18上期： 中国他海外向けで需要が伸長したことから、受注、売上ともに前年同期に比べ増加。

18年度： 市況は引き続き堅調に推移するものと見込まれる。生産能力の強化、コストダウンを推進する。

＜モバイルクレーン＞

18上期： 北米市場が回復傾向にあることや国内需要も堅調に推移したことなどから、受注、売上ともに前年同期に比べ増加。

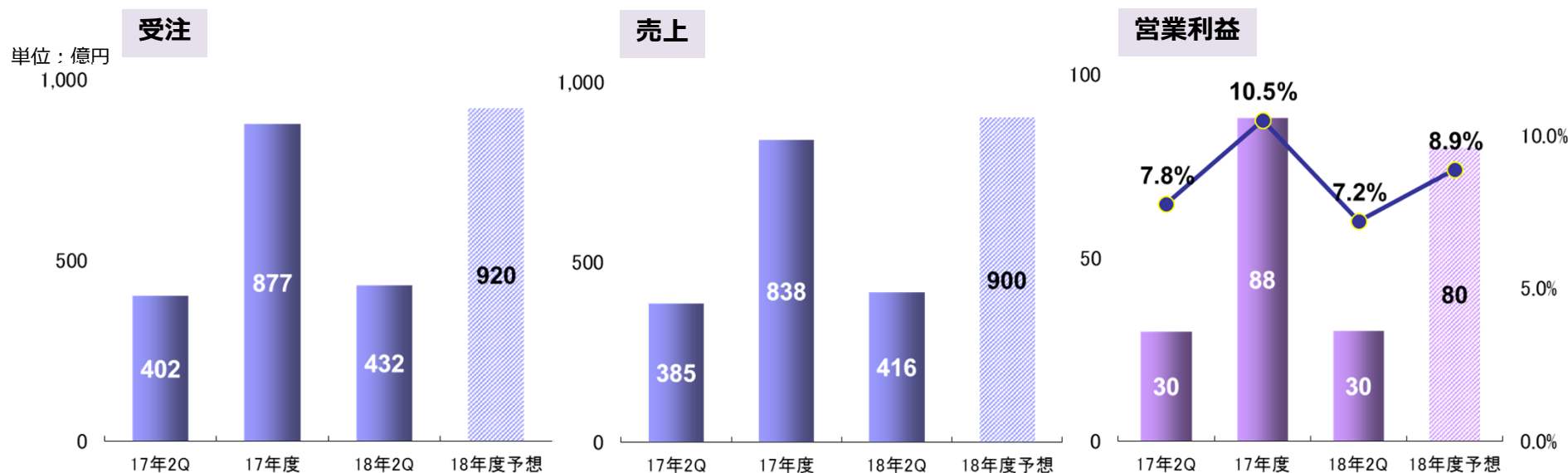
18年度： 国内需要はやや下降線も、北米需要は堅調。新興国向け需要は回復の見通し。



02

産業機械

- 1 8 上期：** 受注は産業用タービンが前年同期に比べ減少したものの、製鉄業界向けが好調であった運搬機械などが増加し、前年同期に比べ増加。
売上は、受注同様に産業用タービンが減少したものの、豊富な受注残をかかえる鍛造プレスが増加したことなどにより、前年同期に比べ増加。
- 1 8 年度：** 医療関連、鍛造プレス、運搬機械は概ね堅調に推移する見込み。産業用タービンは引き続き厳しい。



02

船舶

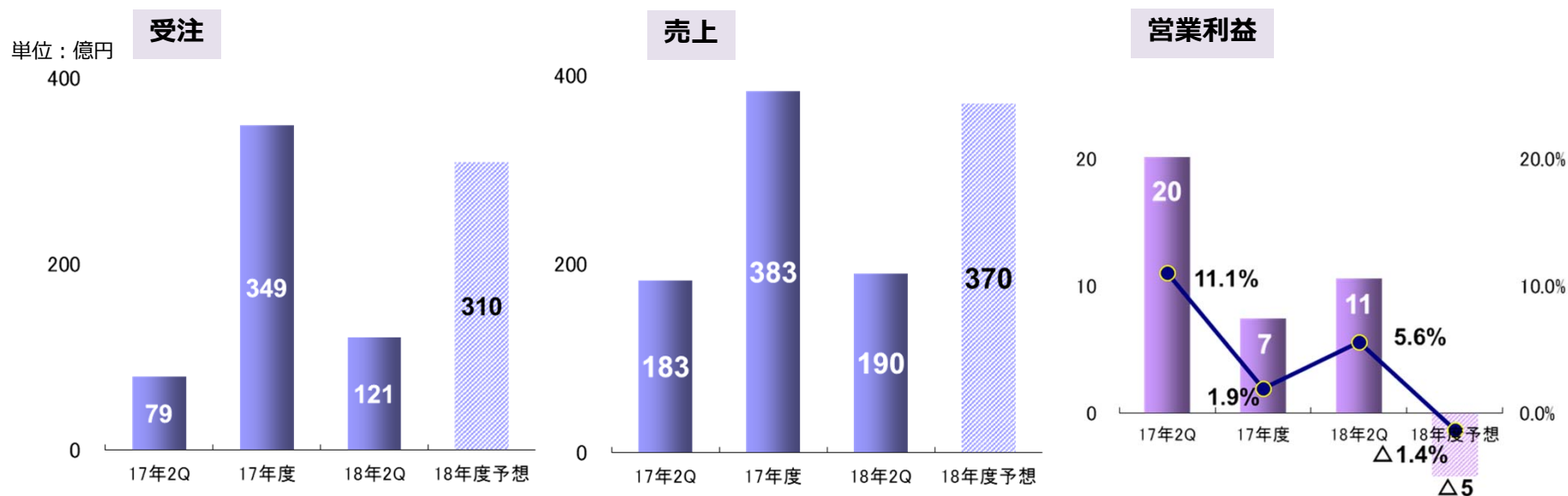
18上期： 修理船の受注はあったものの、市況低迷が継続し前年同期と同様、新造船の受注はゼロ。

引渡しは、前年同期3隻に対し、当期は2隻。

18年度： 新造船の市況低迷が長期化。

現状の建造体制を維持し、3隻の受注を見込む。

引渡しは4隻の予定。



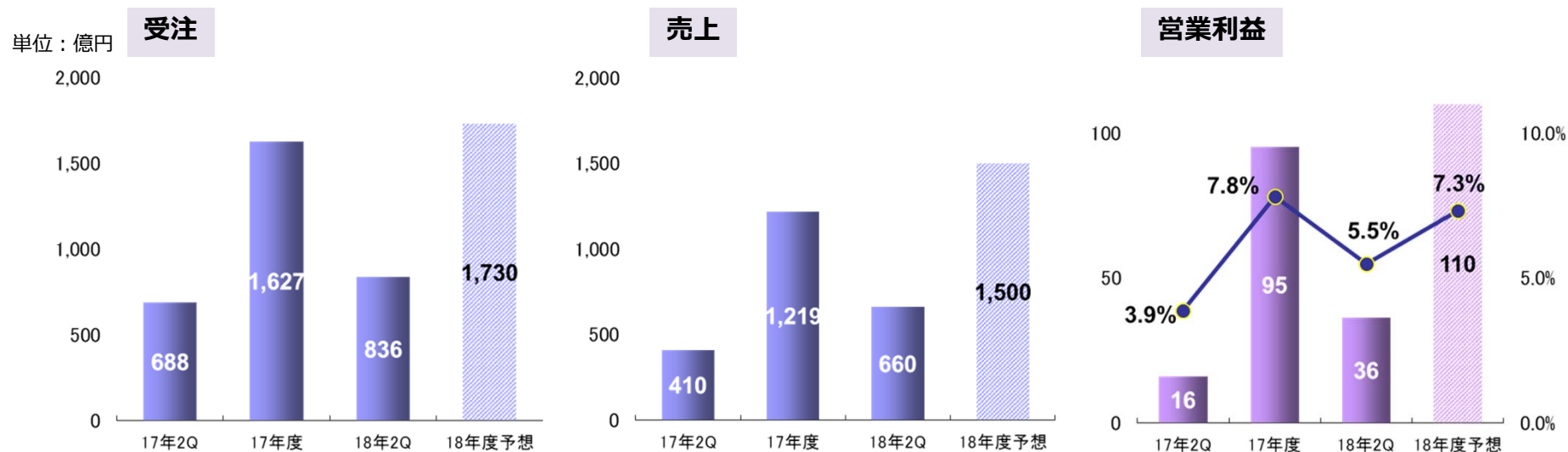
02

環境・プラント

18上期： エネルギープラント事業は、バイオマス発電設備の受注が前年同期に比べ減少したもののSFWを連結子会社化したことから、受注、売上ともに前年同期に比べ増加。水処理プラント事業は、受注は前年同期に比べ増加したものの、売上は前年同期に比べ減少。

18年度： エネルギープラント事業、水処理プラント事業ともに国内市況は堅調に推移するものと見込まれる。

※ SFW: Sumitomo SHI FW



02

2018年度セグメント別業績予想まとめ

単位：億円

		2017年上期 実績	2018年上期 実績	2017年度 実績	(参考)2018年度 予想(18年5月時点)	2018年度予想 (18年10月時点)
機械コンポーネント	受注高	561	683	1,151	1,150	1,350
	売上高	512	624	1,094	1,170	1,330
	営業利益	53	45	118	125	120
精密機械	受注高	865	981	1,905	1,800	1,820
	売上高	768	870	1,694	1,830	1,850
	営業利益	78	77	195	195	180
建設機械	受注高	1,224	1,524	2,652	2,700	3,000
	売上高	1,256	1,442	2,605	2,700	2,880
	営業利益	83	131	174	140	190
産業機械	受注高	402	432	877	930	920
	売上高	385	416	838	870	900
	営業利益	30	30	88	75	80
船舶	受注高	79	121	349	250	310
	売上高	183	190	383	340	370
	営業利益	20	11	7	△10	△5
環境・プラント	受注高	688	836	1,627	1,800	1,730
	売上高	410	660	1,219	1,520	1,500
	営業利益	16	36	95	100	110
その他	受注高	38	37	77	70	70
	売上高	39	34	78	70	70
	営業利益	11	12	21	15	25
合計	受注高	3,858	4,614	8,640	8,700	9,200
	売上高	3,553	4,237	7,910	8,500	8,900
	営業利益	290	341	699	640	700

03 「中期経営計画2019」進捗

03

「中計19」進捗まとめ

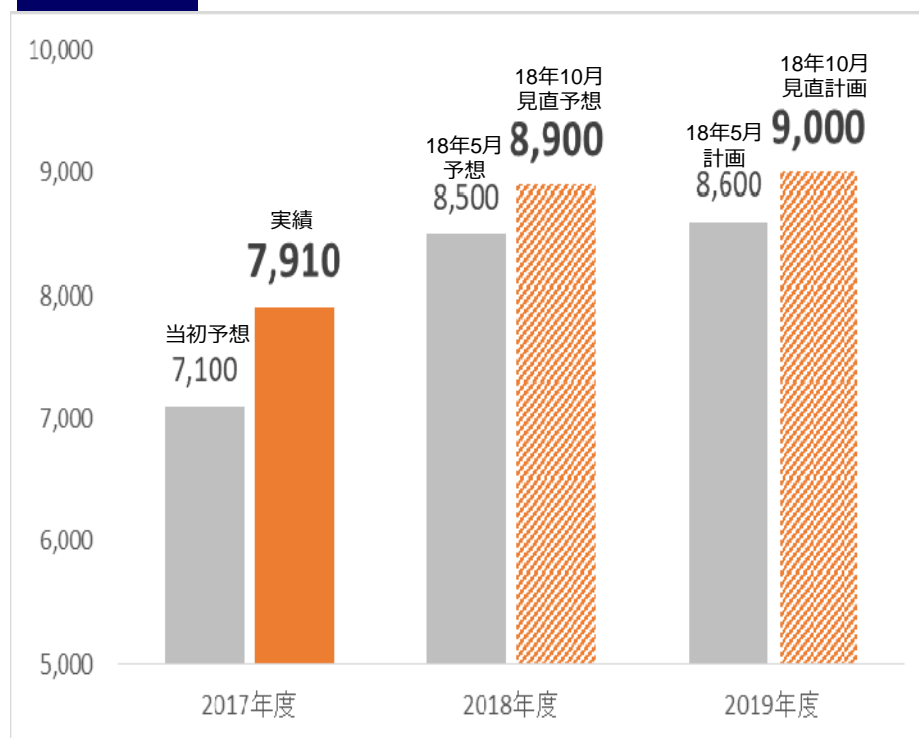
	「中計」19目標	2017年度 実績	2018年度 予想	2019年度 計画
数 値 目 標	売上高：8,000億円（2019年度）	7,910億円	8,900億円	9,000億円
	営業利益率：7.5%（＼）	8.8% (699億円)	7.9% (700億円)	8.0% (720億円)
	ROIC：7.5%以上（＼）	10.3%	9.8%	9.5%
配当性向：30%レベル維持		30.1%	29.9%	30%レベル
設備投資：800億円(3カ年)		1,180億円（3カ年）		
		360億円	460億円	360億円
研究開発：520億円(3カ年)		570億円（3カ年）		
		167億円	203億円	200億円

03

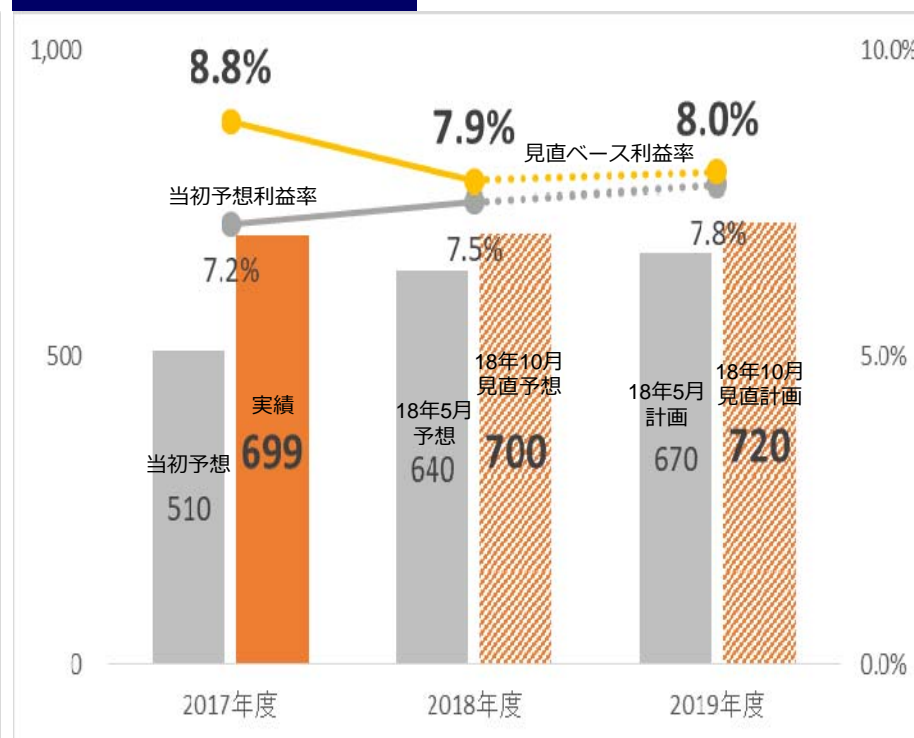
「中計19」進捗状況

- 世界的に概ね好調な環境にあり、18年5月に中計目標を引き上げた
が、好調な受注を受けさらに上方修正

売上



営業利益&利益率



03

基本方針の進捗

基本方針	具体的展開
① 「着実な成長」の実現	グローバルでの伸長(特に量産系) 新商品開発・投入の加速
② 「高収益企業体」への転換	各事業の役割に応じた投資(開発・設備・人材) 実行 自立 (営業利益5%以上)
③ 「たゆみなき業務品質改善」による一流の商品・サービスの創出	業務品質の飛躍的改善 アフターマーケット・ビジネス強化 システム技術 (ICT、IoT) の積極的活用推進
④ 積極的な「M & A および事業提携」等の実施	組織統合や連携を図り、積極的にM & Aや他社との事業提携・協業実施
⑤ 非財務目標の設定とCSRの積極推進	商品・サービスを通じた社会課題解決、製品品質向上、納期遵守・短縮

03

基本方針①－1 <新製品 「マジックラック」>

高密度パレット保管システム／マジックラックを新開発
 業界最高クラスの保管効率による「空間リノベーション」
 自動入出庫によるフォークリフトオペレータの「働き方改革」

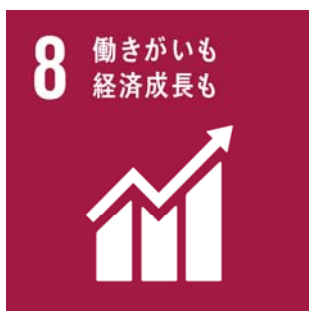
- ・ 保管量は従来のパレットラックの2倍
- ・ フォークリフト台数減によるCO₂排出量削減
- ・ 自由なレイアウトで既存倉庫を有効活用
- ・ スタッカクレーン式自動倉庫と比べ消費電力10%削減



保管量1,560パレット

 Magic Rack

マジックラック



03 基本方針①－2 <廃水・排水の嫌気性処理によるバイオガス発電>

- ・ 製紙排水を利用したバイオマス燃料製造システム受注
大王製紙(株)三島工場のクラフトパルプ製造工程で発生する排水を嫌気性処理により浄化、処理過程で発生するバイオガスを重油の代替燃料として工場内で有効活用。
重油換算で年間5,000kLのエネルギー回収。
- ・ 梅調味廃液を利用したバイオガス発電型嫌気性廃水処理システム受注
中田食品株式会社の「中田食品バイオガス発電所」に自社および地域で発生する梅調味廃液を受け入れ、嫌気処理設備（商品名：バイオインパクト）で廃液を浄化、処理工程で発生するバイオガスで発電。



嫌気処理設備（商品名：バイオインパクト）：他社事例



03 基本方針③ <アフターマーケットビジネス強化>

減速機のサービステクニカルセンターを名古屋に開設

- ・減速機のサービス技術・技能の支援および開発拠点として、減速機事業のマザーファクトリーである名古屋製造所（愛知県大府市）の隣接地に開設。
- ・工場各部門との緊密な連携の下、技術開発や技能継承を推進し、サービス品質の向上、サービス体制の拡充を目指す。
- ・今後成長が見込まれる海外市場に向け、高品質のサービス提供を支援。



サービステクニカルセンター

03

基本方針④ 新規連結会社の状況

単位：億円

セグメント	新規連結会社	18年度上期実績		18年度見込	
		受注高	売上高	受注高	売上高
機械コンポ	ラファート社	58	62	150	150
精密機械	Persimmon Technologies	5	7	10	15
建設機械	住友重機械建機クレーン	180	178	350	350
環境・プラント	Sumitomo SHI FW (SFW)	152	200	300	470

※ ラファート社の連結期間は2Q以降（9ヶ月）

03

基本方針⑤ CSRの積極推進

	実績	課題
商品・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会課題の視点を加えた商品・サービスの顧客価値の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の意義を再確認し、商品・サービスで解決する社会課題の明確化
環境 (E)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境リスクアセスメントの実施強化 ・ ISO14001-2015版への移行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業活動に伴う環境負荷低減 ・ 製品使用時のCO₂排出量の開示
社会 (S)	<ul style="list-style-type: none"> ・ CSR調達ガイドライン説明会の実施 ・ ダイバーシティ推進、特に女性活躍とワークライフバランス推進施策を展開 ・ 紺綬褒章受章 ・ くるみんの認定 ・ 健康宣言の制定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CSR調達説明会の実施継続 ・ 多様性を生かす組織づくり ・ 働き方改革の推進 ・ 健康管理マネジメントシステム
ガバナンス (G)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式取得報酬の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーポレートガバナンスコード改訂への対応
社外発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合報告書を11月に発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESGアナリスト、投資家との対話機会の増加



住友重機械工業株式会社

将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。